

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台泉ふれあいの家
2	指定管理者	社会福祉法人 仙台市社会福祉協議会
3	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和元年度 6,579人（前年比 97.7%）</li> <li>平成30年度 6,734人（前年比 107.1%）</li> <li>平成29年度 6,285人（前年比 101.6%）</li> </ul> <p>《事業》</p> <p>主として知的障害者が通所し、日常生活に必要な支援及び社会生活に必要な訓練を行うことで、福祉の増進や社会参加の促進を図る。</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者に支払った費用 48,867千円 （47,140千円）</li> <li>その他市が負担した費用 4,803千円 （274千円）</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用料収入 47,306千円 （48,821千円）</li> <li>その他収入 4,620千円 （0千円）</li> </ul>
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>利用者アンケートを令和2年1月に市で、同2月に施設運営法人で実施した他、施設と就労継続支援B型の利用者による利用者運営委員会の実施（年1回）、保護者会への参加（年5回）。</p>

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>条例で定める設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解し、利用者支援に従事している。</p> <p>また、利用者の障害特性を十分に把握したうえで配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。</p> <p>他の施設や関係機関との連携も十分図られている。</p>	42/42
II 施設の運営管理体制	<p>法に定められた職員数が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。</p> <p>また、個人情報の取扱いについては、管理責任者を定めるとともに、職員研修を行い、意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。</p> <p>事故や災害の発生に備えた体制も整えられ、事故防止策の研修も積極的に実施している。</p>	24/24
III 施設・設備の維持管理	<p>老朽化が進んでいる施設ではあるが、利用者の安全を確保し、安心して利用してもらえるよう、施設の保守点検や清掃を丁寧に行い、清潔に保たれている。</p> <p>また、積極的に節電・節水を行うなど、省エネ対策が実行されており、環境に配慮した施設運営を行っている。</p>	24/24
IV サービスの質の向上	<p>職員の資質向上や意識高揚のため、研修会への参加に積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、施設と利用者による委員会の定期開催や保護者会への参加等、施設の現況説明や情報交換を行い、施設運営上の課題を把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に努めている。</p> <p>利用者の支援に支障があるため、職員は名札を着用していない場面もあるが、掲示による職員紹介を行っている。</p>	28/28
V 施設固有の基準	<p>指定管理施設としての基準を遵守しながら、利用者の障害特性を適切に把握し、支援の充実にも努めている。</p> <p>利用者のニーズに応じたサービスを提供しつつ質の向上を図る取組みを行っているほか、生産活動の機会の提供についても工賃増額に向けた各種取組みを展開している。</p>	8/8

### 三 評価総括

《指定管理者（仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
<p>利用者の個性やニーズ、特性を踏まえた個別支援計画に基づいて適切なサービスの提供に努めるとともに、地域イベント等への参加や社会体験活動を通して利用者に社会参加の機会を幅広く提供した。</p> <p>本年度は、一昨年度から導入した利用者担当制が定着し、利用者の体調や情緒面の変化等について保護者との共有がより円滑になるなど、利用者支援にあたり保護者との信頼関係を深めることができた。また、利用者支援については、個別支援計画書に則った支援を提供し、利用者個々の目標や達成状況を日々確認しながら、記録や評価を効率的に行えるようにするとともに、日々の活動終了時に、利用者とその日の活動内容について個別に振り返りを行い、共に評価・共有する取り組みを継続するなど、質の高いサービスの提供に努めた。</p> <p>さらに、工賃増額に向けた取り組みとしては、仙台市が主催するふれあい製品フェアや地域・近隣施設の行事等へ積極的に参加し、野菜やビーズアクセサリー等の自主製品を販売した。また、受託先の新規事業所開拓に努め、区内の民生委員児童委員協議会及び紙器会社からの作業を新規に受託し、工賃増額につなげた。</p> <p>地域・関係団体とのかかわりとしては、野村小学校児童の施設見学や学校行事への参加・交流を通じて、障害者への理解促進に努めるとともに、町内会のお祭りへ参加協力し施設のPRを行った。また、市内の中学生の職場体験や見学者を積極的に受け入れることで、地域における福祉教育の場としての役割を果たした。</p> <p>利用者及び家族支援の取り組みとしては、保護者の高齢化に伴う様々な課題や不安に対して、障害者相談支援事業所やグループホーム等の関係機関と連携して支援に取り組んだ。当施設保護者会と合同で「将来への備え」をテーマとした講演会を受講し、保護者と利用者の今後について考える機会を設けた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>協定書及び仕様書に従っておおむね適切、良好に行われた。</p> <p>利用者や家族のニーズを基に支援計画を作成し、利用者の状態に合わせた適切なサービス提供が行われている。また、ひまわりの家で既に導入していた利用者担当制の定着等により、関係者間の円滑な情報共有や利用者のニーズに応じたサービスを提供するうえでの質の向上が図られている。生産活動の機会の提供についても、工賃増額に向けた各種取り組みを展開しているが、当年度は新規の受託があり、工賃増につながっている。</p> <p>他の施設等との連携も図られており、地元小学校との交流や地域の行事等への参加等により福祉施設や障害のある方への理解促進に努めるなど、総合的には高く評価できる。</p>	S

#### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課